

令和7年9月30日

高圧受電のお客様 各位

調達電源等調整額の導入のお知らせ

ひおき地域エネルギー株式会社

平素より当社の電力をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2024年4月より容量市場制度が開始され、小売電気事業者には新たに「容量拠出金(※1)」の負担が課されております。同費用は従来の燃料費等調整制度には含まれておりませんが、電力供給に要する原価として不可避に発生するものです。これまで同拠出金については当社で負担しておりましたが、電気の安定供給を行うため、2025年11月のご請求分より、従来「燃料費等調整額」として算定していた項目を「調達電源等調整額」に変更し、その内訳に容量拠出金を含めて算定することといたしました。

【算定方法】

調達電源等調整額(円) = 使用電力量(kWh) × {燃料費調整単価 + 離島ユニバーサルサービス調整単価 + 市場価格調整単価 + 容量拠出金調整単価}

容量拠出金調整単価(円/kWh) = 容量拠出金負担額(※2) × 調整係数0.7(※3)

当社とお客様との電気需給契約書(個別条件書)における「燃料費等調整額」は、旧一般電気事業者(九州電力)の標準供給条件に準拠する旨を定めております。

容量市場制度は新たに国により導入された制度であり、その費用は電力供給の原価として不可避に発生するものであるため、当社では従来の「燃料費等調整額」を「調達電源等調整額」に変更し、容量拠出金を含んだ形で算定いたします。

当社の2025年度容量拠出金調整単価は1.07円/kWhであり、九州電力は2025年度から新料金において、夜間時間を設定しない料金メニューで1.13円/kWh、夜間時間を設定する料金メニューの夜間料金単価を3.10円/kWh 値上げしており、九州電力と比較して高くなることはありません。

今後とも安定した電力供給と公正な料金制度の運用に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※1 将来(4年後)必要とされる電力の供給能力を売買される容量市場において、供給力を確保するために小売電気事業者等に課せられる費用で、供給する電力の規模に応じて毎年算出される。

※2 容量拠出金仮請求額通知書(対象年度の前年12月に公表)に基づく総額を、対象年度の前年の総供給量で除した単価。

例 1.53円/kWh(2025年度単価)

= 27,627,348円(2025年度容量拠出金仮請求額) ÷ 18,054,174kWh(2024年度高圧総供給量)

※3 お客様の負担を軽減するため、一部当社で負担するための係数(年度により変動します)。

請求書の表示変更(例)

○ご使用明細

料金項目	単価(円)	電力(kW)/電力量(kWh)	金額(円)	備考
基本料金				力率100%
電気量料金				
夏季				
他季				
燃料費等調整額※	-1.62			(翌月燃料費等調整単価 -1.69円)
再生可能エネルギー促進賦課金	3.98			



調達電源等調整額に変わります。

2025年11月分の調達電源等調整額の算出

$$\begin{aligned}
 \text{調達電源等調整単価(円/kWh)} &= \{ \text{燃料費調整単価} + \text{離島ユニバーサルサービス調整単価} + \\
 &\quad \text{市場価格調整単価} + \text{容量引出金調整単価} \} \\
 &= \blacktriangle 1.14 + \blacktriangle 0.04 + 0.78 + 1.07 \\
 &= 0.67
 \end{aligned}$$